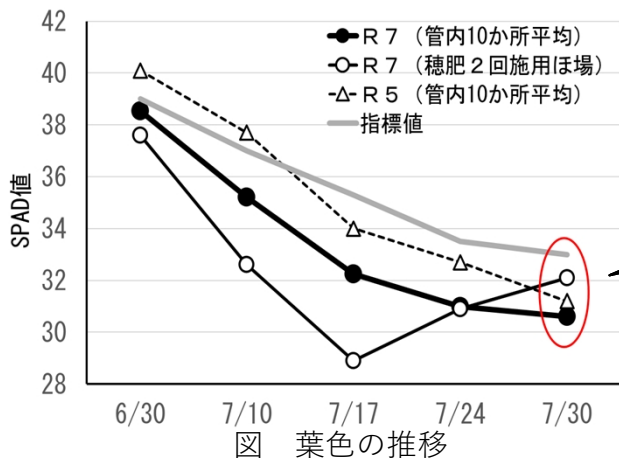


出穂期直前！3回目穂肥を積極的に施用し後期栄養確保！



・穂肥の施用により、葉色の低下は、緩やかになったが、品質低下した令和5年より葉色薄い状況です。
 ・穂肥を2回基準量施用したほ場では、葉色が回復しています。



異常高温による被害を防止するために、
穂肥と飽水管理で後期栄養を確保しましょう。

(1) 今後も高温の予想！3回目穂肥をただちに施用！

○ 5月20日以降田植のほ場は、まもなく出穂期を迎えます。葉色が薄い場合は、**走り穂が出る頃までに3回目穂肥（追加穂肥）を積極的に施用しましょう。**

○ 3回目穂肥（追加穂肥）は、分施肥体系・基肥一発穂肥いずれも、速効性肥料を窒素成分で1kg/10a施用し、高温による品質低下を防ぎましょう。

※特別栽培米で計画にない追加穂肥や施用量を増やす場合は所定の手続きを行ってください。

表 コシヒカリの追加穂肥（3回目穂肥）施用めやす

追加穂肥が必要な稲姿	施肥量	施肥例
○ 分施肥体系 ・出穂期3日前の葉色（SPAD値）が31以下のとき	N成分量 1 kg/10a	硫安 (N成分21%) 4.7 kg/10a
○ 基肥一発体系 ・出穂期の葉色（SPAD値）が32~33を下回ると予想される場合		化成肥料14-14-14 (N成分14%) 7.1 kg/10a

穂肥の窒素成分量は最低でも合計で、2~3kg/10aになるように施用しましょう！



(2) 出穂期前後は最も水を必要とする時期！飽水管理を徹底！

限りある用水を大切に！

○ こまめな水回りを行うとともに、末端のほ場まで用水が行き渡るように、ほ場全体に水が行き渡ったら水口を止めましょう。

○ 番水やローテーションで用水を有効に利用するなど節水を心掛け、**かけ流しは絶対にやめましょう。**

○ **後期栄養を維持するため、可能な限り出穂期25日後まで飽水管理を継続しましょう。**

JA魚沼 北魚沼地区
 営農情報 (LINE)
 はこちら →



魚沼農業普及指導
 センターHP稲作情報
 はこちら →



お問い合わせ先

JA魚沼北魚沼基幹営農センター 025-793-1770
 魚沼農業普及指導センター 025-792-1309

こまめな水分・塩分の補給で、熱中症を予防しましょう。農作業事故に注意しましょう。